

## ■ 市長から市民のみなさんへ

市長 白平博文



### ■ 「3月議会」が始まっています

市議会は年4回の定例会のほか臨時会も開かれますが、「3月議会」は新年度の予算を審議する大変重要な定例会です。定例会では議案の審査・採決のほか、市政全般について議員から「一般質問」を受けます。今回も21人の議員から通告がありました。一人の手持ち時間が70分。昨年の「12月議会」からインターネット配信ができるようになりましたから、市役所のロビーや公民館のほか、ご家庭でも映像付きで本会議場の様子を受信できます。夕食後のひととき、コーヒーでも飲みながら、議場でのやりとりを「傍聴」されてはいかがでしょうか。

### ■ 新校舎の改築が決まりました

昨年の「12月議会」から継続審議になっていた厚陽小・中一体型の新校舎が建つことが決まりました。議会の総務文教常任委員会で熱心に審査され「3月議会」の冒頭、原案が可決されました。これで平成24年4月の開校に向けて新校舎の建設が動き出しました。耐震性の低い校舎で学ぶ生徒達のことをいつも気になっていましたが、あと2年、地域のみなさんとともに開校の日を迎えることができるのを、とても楽しみにしています。

### ■ 新年度の当初予算について

市民のみなさんのご協力のお陰で、財政指数は少しずつではありますが着実に好転しています。例の実質公債費比率は平成21年度（確定値ではありません）が単年度15.1。3か年

平均16.9。平成22年度の予測値は、単年度15.5。3か年平均16.0。財政の硬直度を表す経常収支比率は平成21年度97.5（当初予算）、平成22年度95.8。数字の上では、このような状況になっています。一般会計では、地方債残高が平成21年度より1年で4億8,000万円減る見込みです。

新年度当初予算の主なメニューは、保育園施設整備費補助金、ホームページリニューアル事業、し尿処理センター統合事業、新生町街区公園整備事業、水産基盤ストックマネジメント事業、国体リハーサル事業など、総合計画の実施計画のうち約140の事業を手掛ける予定にしています。「3月議会」は3月26日が最終日です。

### ■ 「国際女性の日」に寄せて

3月8日は国連が定めた「国際女性の日」です。男女共同参画担当大臣は広く国民に、「…我が国においては、固定的性別役割意識の解消、意思決定過程における女性の登用、女性の労働条件、女性家庭の貧困、女性に対する暴力など、まだまだ取り組むべき課題が多く残されており、男女共同参画社会の実現は道半ばです。…みなさん、一緒に頑張りましょう。」とのメッセージを寄せています。本市の女性の日の創設には、内閣府男女共同参画局の協力もお願いしようと考えています。

対話の日

3月25日(木) 19:00 ~  
吉田地集会所